

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	千葉市公共下水道事業（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	千葉市												
計画の目標	下水道施設の耐震化や浸水対策を行うことで、安全・安心なまちづくりに貢献するとともに、適切な改築更新を行うことで、良好かつ継続的な下水道サービスを提供し、快適な暮らしの実現を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	18,565	A	18,565	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	計画の期間内で、124kmの重要な幹線等の耐震化を行うことで、東日本大震災で被災した美浜区の管渠施設の耐震化が完了する。 重要な幹線等の耐震化延長 0km 124km	0km	115km	124km
2	計画の期間内で、2処理場の水処理施設の耐震化を行うことで、大規模地震発生時における最小限の処理機能を確保する。 施設の耐震化箇所数 0箇所 2箇所	0箇所	1箇所	2箇所
3	計画の期間内で、2処理場及び16ポンプ場の設備の改築更新を行うことで、処理機能を適正に維持する。 設備の改築更新実施箇所数 0箇所 18箇所	0箇所	12箇所	18箇所
4	計画の期間内で、7箇所の浸水対策を行うことで、床上・床下などの浸水被害を軽減する。 浸水対策の整備箇所数 0箇所 7箇所	0箇所	2箇所	7箇所
5	計画の期間内で、73箇所のマンホールトイレを整備する。 マンホールトイレの設置数 0箇所 73箇所	0箇所	33箇所	73箇所

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	管渠(合流)	改築	地震対策(管渠)	管更生他 L=92km	千葉県						3,405		策定済
	A07-002	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	終末処理場	改築	地震対策(処理場)	水処理施設、消化ガス発電、耐震補強	千葉県						5,202		策定済
	A07-003	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	管渠(合流)	改築	改築更新(管渠)	管更生他 L=3km	千葉県						0		策定済
	A07-004	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	ポンプ場	改築	改築更新(ポンプ場)	幸ポンプ場他11箇所 機械・電気設備 一式	千葉県						1,296		策定済
	A07-005	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	終末処理場	改築	改築更新(処理場)	機械・電気設備 一式	千葉県						5,268		策定済
	A07-006	下水道	一般	千葉県	直接	千葉県	管渠(雨水)	新設	浸水対策	5地区	千葉県						874		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠(雨水)	新設	浸水対策(雨水浸透施設)	浸透柵、浸透マンホール、浸透トレンチ、浸透側溝	千葉市						139		策定済	
	A07-008	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠(合流)	新設	地震対策(マンホールトイレ)	21箇所	千葉市						10		策定済	
	A07-009	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠(合流)	改築	地震対策(管渠)	管更生他 L=32km	千葉市						1,634		策定済	
	A07-010	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	ポンプ場	改築	改築更新(ポンプ場)	ひび野ポンプ場他 機械・電気設備 一式	千葉市						132		策定済	
	A07-011	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠(雨水)	新設	浸水対策	2地区	千葉市						379		-	
	A07-012	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠(雨水)	新設	浸水対策(雨水浸透施設)	浸透柵、浸透マンホール、浸透トレンチ、浸透側溝	千葉市						80		策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-013	下水道	一般	千葉県	直接	千葉市	管渠(合流)	新設	地震対策(マンホールトイレ)	12箇所	千葉市						29		策定済	
	A07-014	下水道	一般	千葉県	直接	千葉市	-	-	地震対策・浸水対策・改築更新	計画策定	千葉市						117	-		
												小計						18,565		
												合計							18,565	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	管渠（ 合流）	新設	地震対策に係る減災対策	バイパス管 他	千葉市						0	-		
		基幹事業である耐震化と一体的に行うことにより、被災時には、より円滑な下水道機能の復旧を図ることが出来る。																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価（案）に対して第三者の学識経験者に意見聴取を行い、意見等を反映させた後、事後評価書を市ホームページで公開する。	令和4年4月
	公表の方法 市のホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標】 112kmの重要な幹線等の耐震化を実施し、美浜区においては約9割耐震化を完了した。</p> <p>【指標】 南部浄化センターでB・C系放流渠、沈砂池機械室棟の耐震性能を確保した。</p> <p>【指標】 2処理場および13ポンプ場の改築更新の実施により、適切な処理機能を確保した。</p> <p>【指標】 5地区での浸水対策を行い、浸水被害の軽減を図った。</p> <p>【指標】 マンホールトイレを52箇所整備し、大規模地震時における衛生的なトイレ環境を確保した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期以降の社会資本総合整備計画においても、下水道施設の耐震化や浸水対策、老朽化対策を実施し、安全・安心なまちづくりに貢献するとともに、良好かつ継続的な下水道サービスを提供し、快適な暮らしの実現を図っていく。</li> <li>・北部第一地区（総合浸水事業）については、第3期整備計画の期間中に整備完了となった。</li> </ul> <p>【学識経験者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画のままの目標値にするのではなく、他の計画の変更や事業の進捗に合わせ、目標値を変更してもよかったのではないかと。</li> </ul> <p>【意見に対する市の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の計画の変更等に合わせた目標値の変更を検討していく。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	重要な幹線等の耐震化延長		
	最終目標値	124km	おおむね目標を達成したが、予算減などにより事業を先送りしたため。
	最終実績値	112km	
2	施設の耐震化箇所数		
	最終目標値	2箇所	中央浄化センター再構築にて整備予定であった高度処理施設が汚染土処理により遅れが発生したため。
	最終実績値	1箇所	
3	設備の改築更新実施箇所数		
	最終目標値	18箇所	改築を予定していた高洲第二、寒川雨水、検見川雨水ポンプ場の機械・電気設備について、設備を点検した結果、健全であったため。
	最終実績値	15箇所	
4	浸水対策の整備箇所数		
	最終目標値	7箇所	北部第一地区・黒砂地区で、他事業との調整により、事業の遅れが発生したため。
	最終実績値	5箇所	
5	マンホールトイレの設置数		
	最終目標値	73箇所	計画設置数の20箇所は重複計上であるため（誤：73箇所 正：53箇所）。また、1箇所については入札不調により、次期計画に先送りしたため。
	最終実績値	52箇所	